

研究データエコシステム北海道コンソーシアム 設立趣意書

1 設立の趣旨

令和5年5月12日～14日に開催されたG7 仙台科学技術大臣会合および、令和6年7月9日～11日に開催されたG7 ボローニャ科学技術大臣会合において、オープンサイエンスの推進に関する共同声明が発表されるなど、研究データ管理・利活用は世界的な潮流となっており、我が国においてもオープン・アンド・クローズ戦略に基づき全国の研究者が、分野を問わず必要な研究データを互いに利活用することで、優れた研究成果とイノベーションを創出していく環境の整備が急務となっています。

このような状況の中、国立情報学研究所では、文部科学省の「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」を受託し、全国的な研究データ基盤の構築とその活用に係る環境整備を進めるために、令和5年度より「研究データ管理スタートアップ支援事業」を開始しました。本事業では、日本の各地域において拠点大学を中心とした支援の仕組み作りに取り組んでいます。

北海道地区においては、北海道大学が国立情報学研究所からの委託を受け、同地区を中心とした国公立大学、高等専門学校、公的研究機関その他の学術研究機関が相互に連携し協力することで、研究データエコシステムの地域拠点を形成し、我が国の研究データ基盤の普及と発展を目指すコンソーシアムを設立いたします。

2 活動内容

- 研究データポリシーの策定と、その運用のための体制整備などに関する情報交換
- 研究データの管理・公開・利活用に関するセミナー開催
- 研究データ管理に必要な基盤システム、人材、教材などの知見の共有
- ウェブサイトの運営を通じた本会の活動紹介
- 本会の活動成果・事例の全国展開
- その他、研究データエコシステム構築に関する事業

3 入会のお願い

本コンソーシアムは、研究データ管理・利活用の重要性を認識し、共に取り組む意志を持つ大学、高等専門学校、学術研究機関などの皆様のご参加を広く歓迎いたします。入会機関の皆様には、活動へのご参画とともに、地域全体の研究力向上に向けた協働をお願い申し上げます。

令和7年6月

国立大学法人北海道大学

理事・副学長 瀬戸口 剛